

小学校への出前授業を開催

J&T環境株式会社（社長：露口哲男、本社：神奈川県横浜市、以下、「J&T環境」）は、6月23日、横浜市立山元小学校4年生55名を対象に「家庭から出たプラスチックのゆくえ」と題する社会科の出前授業を行いました。

今回の出前授業は、J&T環境横浜プラスチックリサイクル工場^{※1}を見学した山元小学校の先生方より、「授業の中で子供たちにこの工場の話をしてほしい」との要望を受け実現したものです。

当日の授業は、横浜プラスチックリサイクル工場のスタッフが受け持ち、廃プラスチックの処理工程について、動画も織り交ぜ説明しました。一方的な授業とならないように生徒たちと質疑応答や会話を重ねて理解を深めてもらいました。

授業の後、生徒たちからは、「これからもプラスチックは洗って出し、捨てるときは“プラマーク”があるものだけにまとめます」という心強い感想をもらいました。

本取り組みは、J & T環境が進めるESG^{※2}における環境保全・社会共生活動の一環であります。当社は引き続きESGの取り組みを推進し、社会に貢献してまいります。

※1 横浜プラスチックリサイクル工場の概要

横浜市の9区で発生したペットボトル以外のプラスチック製容器包装を受け入れ、容器包装リサイクル法に基づく指定法人の定める分別基準適合物の品質基準に適合するように、選別・圧縮・梱包して再資源化事業所へ引き渡す事業。（住所：横浜市鶴見区末広町2-1-8 処理能力：136.8t/日）

※2 E=Environment（環境）、S=Society（社会）、G=Governanceの略称。企業が長期的に成長するための要件



以上